【円覚寺境内図】

今もなお、中世の雰囲気が残る境内

円覚寺の伽藍は、鎌倉独特の谷戸（やと）と呼ばれる丘陵地が浸食されて出来た谷に沿って建てられています。三門を入り、仏殿、方丈へと徐々に登っていく配置は、この土地の高低差を生かした壮大な空間をつくりだしています。